# ボランティア伝言板

## 7月～8月

発行　佐伯区社会福祉協議会ボランティアセンター
〒731-5135　広島市佐伯区海老園１－４－５
広島市佐伯区役所別館　佐伯区地域福祉センター
TEL　921―3360　FAX　924―2349
平成２６年７月発行

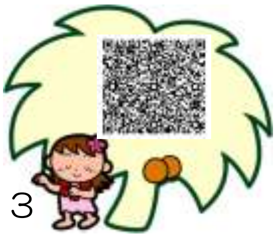
やるき！げんき！さえき！

# ぷちボラ

# 体験スクール2014

**開催日：平成 26 年８月７日（木）～９日（土）、11 日（月）【全４回】**

♥会　場：概ね佐伯区地域福祉センター　（区役所別館）　６Ｆ大会議室
　　　　　佐伯区海老園一丁目４－５
♥対　象：佐伯区内に居住、または通学している高校生・大学生などから概ね 25 歳までの青少年
♥人　数：２０名（４日間参加できる方が優先になります）
♥締切り：平成２６年７月２５日（金）ただし、定員になり次第締め切ります
♥参加費：３００円（ボランティア活動保険代）
♥主　催：広島市佐伯区社会福祉協議会　佐伯区ボランティアセンター
♥申込み・問合せ：広島市佐伯区社会福祉協議会　☎　（０８２）９２１－３１１３
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ（０８２）９２４－２３４９



| | 日　　時 | 内　　容 | 講　　師 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ | ８月　７日（木）<br>１０：００～１５：００ | ☆レクリエーション<br>☆知的障がい疑似体験<br>「あび王国へようこそ」 | ★ひろしまレクリエーション協会<br>渡邊　稔彦さん<br>★ひろしま♡あび♡隊<br>広島市手をつなぐ育成会佐伯区支部 |
| Ⅱ | ８月　８日（金）<br>１０：００～１６：００ | ☆体験「子どもたちと遊ぼう」<br>龍頭峡へバスハイク | ★協力<br>広島市手をつなぐ育成会佐伯区支部<br>スバルの会 |
| Ⅲ | ８月　９日（土）<br>９：３０～１５：００ | ☆体験「ブラインドテニス」<br>☆楽しくゲーム | ★佐伯区視覚障がい者のつどい<br>「白い三輪車の会」<br>★車いすユーザーの会<br>「で・あるーく」 |
| Ⅳ | ８月１１日（月）<br>１０：００～１３：３０ | ☆「ボランティアって何？」<br>☆ふりかえり<br>☆ランチサロン（おまけ） | ★職　員 |

♥講座終了後に、「子育て」・「ミニテニス」の体験もできますよ！

# とび出せボラセン　インタ美ュー

鈴峯女子高校３年生の乗石（のりいし）　真心子（まみこ）さんにお話を伺いました。

乗石（のりいし）　真心子（まみこ）さん

Q．どんなボランティア活動をしていますか？

A．「インターアクトクラブ」（自主的にボランティア活動をするクラブ）に入部しており、老人福祉施設訪問や24時間テレビの募金活動などを行っています。また、社会福祉協議会が募集した活動では、障がい児とのふれあいで「そば打ち」や「ミニテニス」などに参加しています。

Q．「ぷちボラ体験スクール」に参加してどうでしたか？

A．少し不安でしたが、同クラブの先輩が参加しておられたので心強かったです。子どもたちとゲームをしたり、川遊びをしたり、とても楽しかったですね。また、「体験学習」で赤ちゃんを抱っこさせてもらい、とても愛らしいなと思いました。

Q．これからボランティア活動に参加したいと思っている人たちにメッセージはありますか。

A．「ぷちボラ体験スクール」を受講することをお勧めします。一緒に遊ぶ相手が障がい児と聞いて、少し身構えたところもあったのですが「知的障がいの疑似体験」をした後、子どもたちと関わったら講義で学んだことがストンと体の中に入ってきた感じがしました。今回は、ブラインドテニス（視覚障がい者がされるテニス）が体験でき、車いすユーザーの方たちとゲームもするそうですね。友達に声をかけようと思っていますし、私もこのスクールに参加したいと思っています。

**＊「ぷちボラ体験スクール」：佐伯区社会福祉協議会が開催するヤングボランティアスクール**

★★★ボランティアコーディネーターからひとこと★★★

笑顔がチャーミングな乗石さん。先日の「ミニテニス」の活動の時、あなたの姿を見つけた子どもたちが自然と手をつなぎにやってきていましたね。これからもよろしくお願いします。

# ボランティア研修会（ＡＥＤ講習会）

平成26年５月27日（火）　９：00 ～ 12：00、佐伯区地域福祉センター６階大会議室で「ＡＥＤ講習会」を開催し、２９名が参加しました。参加者は、救急車が来るまでの応急手当と救命処置、ＡＥＤの使用手順を学習しました。参加者は、救急車が来るまでの応急手当と救命処置、ＡＥＤの使用手順を学習しました。

突然意識がなくなった人に対して、あわてずに　①救急車を呼ぶ　②助けてくれる人を確保する　③ＡＥＤを活用する　ことが大事です。また、救急車が来るまでに異物等がある場合は除去し、呼吸の確認をしたうえで呼吸がない場合は、直ちに全身に血液をおくるための「胸骨圧迫」を開始することだそうです。

この講習会では、参加者全員が一連の手順を体験しました。

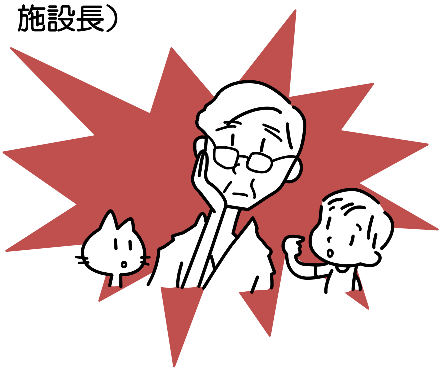
～参加者の感想から～

・このような講座は、定期的に受講しなければいけないと感じた。
・「ＡＥＤ体験」をし、非常時に臆することなく処置ができそうな気がした。
・実際に、自分で心肺蘇生を２回やってみたことによりしっかりと理解することができた。

★☆★　若年性認知症を理解し、
地域住民としてできることを考えます　★☆★

# 若年性認知症の人の 地域生活支援を考える研修会

♥日　時：平成 26 年7月28日（月）１３：３０～１５：３０
♥場　所：佐伯区地域福祉センター（佐伯区役所別館）６階　大会議室
♥内　容：パネルディスカッション「若年性認知症の人と家族の支援と地域の役割について」
パネリスト
木田　裕子　氏（サンキウェルビィ小規模多機能センター江波　施設長）
「事例　本人の支援と家族の支援について」
藤間　智子　氏（ナカムラ病院　デイケア　にぎや家）
「事例　本人の支援と家族の支援について」
岡田　眞理　氏（広島市認知症地域支援推進員）
「“支え合い”と“専門職の役割”について」
コーディネーター　　アイリーフ八幡の里　酒井　保　氏



♥定　員：60 名程度
♥参加費：無　料
♥主　催：広島市佐伯区社会福祉協議会
♥協　力：アイリーフ八幡の里・サンキウェルビィ小規模多機能センター江波・中村病院
デイケア　にぎやか家・広島市認知症地域支援推進員・佐伯区認知症の人と家族の会

## 平成２６年度社会福祉助成

目　的：社会福祉に関する諸活動に対して援助を行い、
社会福祉の向上に寄与すること
対　象：法人・団体であること。助成することにより
効果が期待できるグループ
内　容：障がい者の福祉向上・難病・虐待防止の案件
・明確な企画に基づく事業
・推進体制が確立し、自己資金調達の努力をしている
・先駆的、開拓的事業を優先する
助成金：１件につき　原則６０万円を限度とする
締切り：平成 26年7月末日
問合せ：一般財団法人 松翁会　事務局
社会福祉事業部助成係
TEL　（０３）３２０１－３２２５
一般財団法人　松翁会のホームページ参照
備　考：県・市区社会福祉協議会の推薦が必要です
★過去の助成団体：五日市音訳グループ
問合せ：佐伯区社会福祉協議会 ☎082－921－3113

## 不登校・引きこもり・いじめ理解講座

平成 26 年６月 22 日（日）、佐伯区地域福祉センターで『引きこもりの“心”を読む「タテ」「ヨコ」「ナナメ」の関係とは？』の講演会が開催されました。主催は、「不登校を考える会・広島」で、講師は岐阜大学准教授で児童精神科医の高岡健氏でした。

学校でのいじめなどの危機を回避する上では、無理をして登校することが本人に苦痛なだけでなく、最悪の場合は自殺にもつながることを考えれば、「不登校」で家庭という安全な場に居ることをむしろ受け入れることが必要である。「不登校・引きこもり」は、病気ではなく、自分と対話し再生していく本人にとっても貴重な時間ともなり、本人の成長にもつながっているという内容でした。広島県内から 73 名が参加されました。後援は廿日市市社会福祉協議会・佐伯区社会福祉協議会でした。

# ◇ボランティア募集◇

## ミニテニスパートナー

知的に障がいのある子どもたちとふれあいながら、一緒に体を動かしてみませんか！

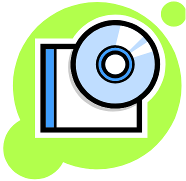
♥日にち：平成２６年８月２１日(木)
♥時　間：１４：００～１５：３０
♥場　所：佐伯区スポーツセンター
　　　　(佐伯区楽々園 6-1-27)
♥持参物：上靴・動きやすい服
♥主　催：広島市手をつなぐ育成会
　　　　佐伯区支部学親会

## バスハイク

知的に障がいのある人たちと自然の中でバーベキューや牧場でジェラートを食べませんか！

♥日　時：８月 31 日（日）　９：45～17：00
♥場　所：湯来交流体験センター・ジェラート工房・
　　　　アルトピアーノ（佐伯区湯来町）
♥参加費：1，000 円（バーベキュー食材代ほか）
♥持参物：ご飯類（おむすびなど）、飲み物
♥人　数：２名くらい
♥主　催：広島市手をつなぐ育成会
　　　　佐伯区支部本人部会

お問合せ・申し込み　佐伯区ボランティアセンター　☎（082）921－3360



# えりごのみ情報

リボンサロン 13：30～
７月は、8（火）・22（火）
８月は、お休みします

## 工大生と共働で作成しています

昨年の秋から、広島工業大学映画研究部の皆さんに協力してもらい、「佐伯区ボランティアセンター登録グループ」の活動ＤＶＤを作成しています。このＤＶＤは、今年度中に完成予定です。いつも学生たちと活動現場に訪問したときは、ボランティアのみなさんからあたたかいおもてなしをいただき感謝しております。

ただ今、編集中！

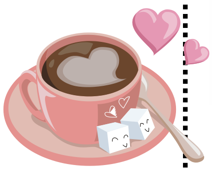
学生たちは、取材を通して「地域のささえあいの仕組み」を学んでいます。部員の末森敬士君からは、『障がいのある方のパワーやポジティブな考え方、技術向上のための限りない学習意欲などたくさん学ぶことができ、このような活動に参加できて良かった』と伺いました。

部員の皆さん、これからもよろしくお願いします。

## ★あいるカフェへどうぞ★

６月から、「生活支援センターあいる」が、佐伯区ボランティアセンターで「あいるカフェ」を月１回（原則第２金曜日）開催しています。

ドリンクは美味しいクッキー付きで 250 円です。
皆さんのお越しをお待ちしております。



開催時間

１２：００～１４：３０